

結婚おうえんTOKYOミーティング

令和6年6月10日（月）

第1回結婚おうえんTOKYOミーティング

令和6年6月10日 17時15分から17時45分まで

都庁第一庁舎7階 大会議室

次 第

1 開 会

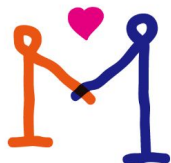
2 議 事

各団体取組紹介

社会全体の婚活・結婚の気運を高めるための取組検討

3 閉 会

“フタリになる”を、応援する。



一般社団法人

結婚・婚活応援プロジェクト

MSPJ

MARRIAGE | SUPPORT | PROJECT

MSPJ：取組紹介

結婚・婚活応援プロジェクト(MSPJ)参画企業



代表理事企業



株式会社エウレカ



株式会社タップル

その他
参画企業

8社

理事企業



株式会社with



株式会社Omiai

参画企業計：12社 (50音順) ※2024年6月1日時点

MSPJの主な取り組み

① 第三者認証の認知拡大・取得促進



【IMS認証】

婚活アプリや婚活サイトのサービスの品質や信頼性について第三者が客観的に評価し認証する制度として、2022年8月に「インターネット型結婚相手紹介サービス業認証制度」（通称：IMS認証、運営：特定非営利活動法人結婚相手紹介サービス業認証機構）の運用が開始されました。

MSPJでは、利用者の皆様に婚活・恋活マッチングアプリを安心安全にご利用いただくうえで、同認証の認知拡大に努めるとともに、MSPJ参画企業における同認証の取得を促進しています。

IMS認証の取得企業は「7社」です。（2024年6月1日時点）

② 自主基準ガイドラインの策定・運用

【MSPJ 7つの約束】

MSPJでは、2018年に利用者の皆様が安心・安全に利用できるサービス環境を目指し、自主基準として「MSPJ 7つの約束」を制定しました。その後、2020年および2022年に一部改定を行うなど、随時見直しを行いながら、これまで運用しています。

【TVCMおよびラジオCMにおける自主広告表現ガイドライン】

2023年11月には、TVCMおよびラジオCMの自主広告表現ガイドラインを策定しました。それに先立ち、2023年9月からインターネット型結婚相手紹介サービスのTV・ラジオCMの放映が可能となり、IMS認証を取得するなど、一定の条件を満たすマッチングアプリのCM放映が開始されています。MSPJでは、放送基準で定められる表現の規定に加え、業界内で自主ガイドラインを策定し、運用していくことで、CM放映を通じたマッチングアプリの適切な認知拡大に取り組んでおります。

③ 安心・安全ナレッジ共有ワーキンググループ

ロマンス詐欺等の不正会員対策の強化を業界横断で進めるため、各社のベストプラクティスやナレッジを相互に共有し対策にいかすための検討を行う場として、2022年3月に、安心・安全ナレッジ共有ワーキンググループを立ち上げました。四半期毎を目処に会合を開催し、安心安全対策の底上げを図っています。

④ 関係行政機関との意見交換等の実施

MSPJでは、経済産業省や総務省等の関係行政機関との意見交換や、出会い系サイトとの区別の明確化、独身証明書のデジタル化などのテーマにおいて婚活・恋活マッチングアプリに関する政策提案を積極的に実施してきました。また、2023年には、警視庁が主催する「インターネット異性紹介事業者に対するサービス不正利用防止説明会」にも出席いたしました。

第1回結婚おうえんTOKYOミーティング
出席者各位

結婚相談事業の現状と 婚活支援の一層の活性化に向けた 取組みについて

2024年6月10日



1 < (一社) 日本結婚相手紹介サービス協議会 (JMIC) のご紹介 >

JIMICは、店舗型の結婚相手紹介サービス業の国内唯一の業界団体です。
結婚相手紹介サービス業の信頼性向上と健全な発展に向けた取り組みを行っています。

名称：一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会（略称 JMIC）

所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目32番地6号 ハイヴ本郷401

沿革：1990年11月（旧）結婚情報サービス協議会として設立、その後改組を経て、
2015年 任意団体「日本結婚相手紹介サービス協議会」を設立

2016年6月「一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会」を設立

おもな活動：「お客様相談室」を常設（加盟、非加盟を問わず消費者相談に対応）

倫理綱領と自主規制基準の制定

「認定個人情報保護団体」

関係行政機関等との連絡・協調、

研修、広報、その他

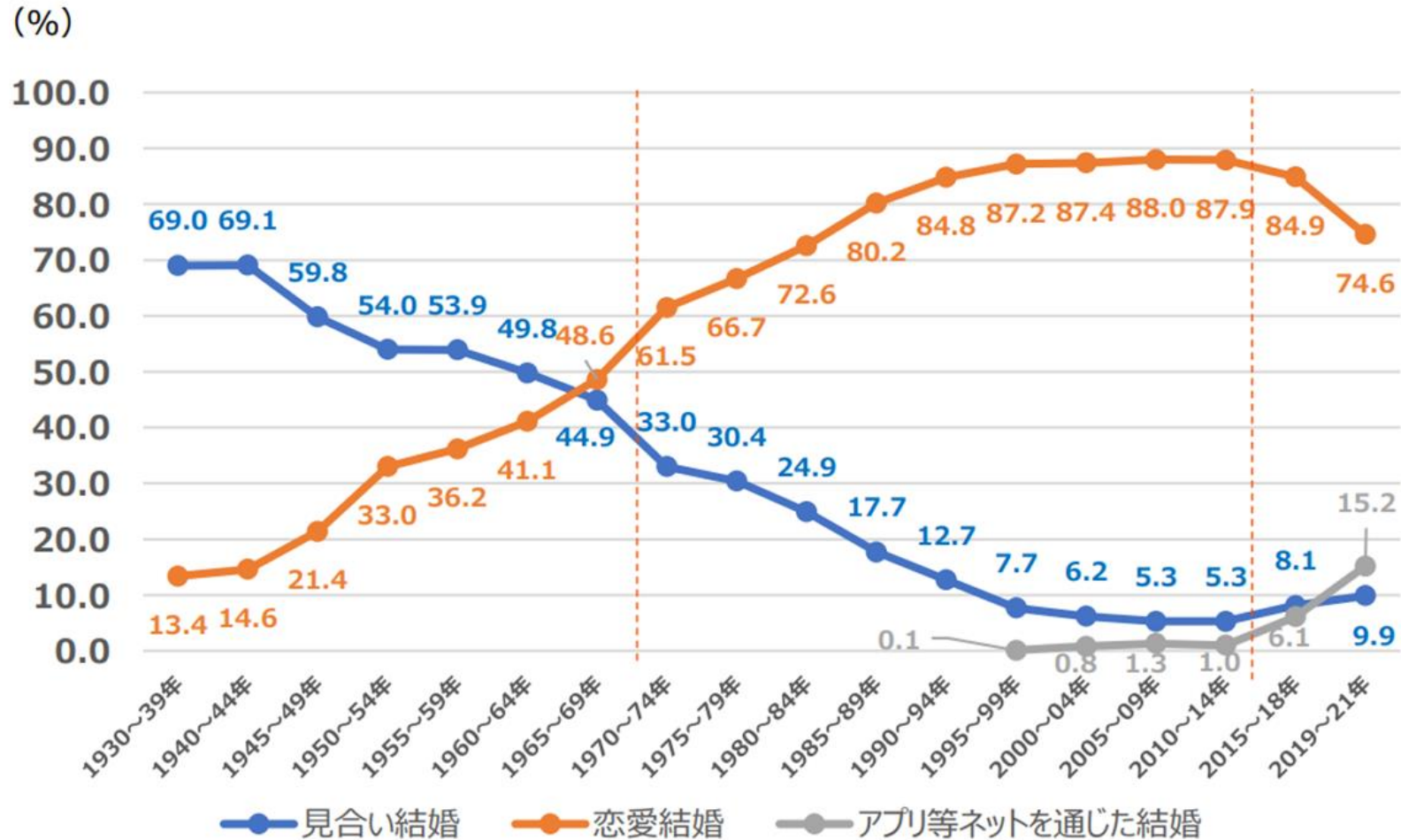
加盟会社：国内の主要な結婚相手紹介サービス事業者が加盟

<加盟会社 一覧(17社)>

2 <出合いのきっかけ別・結婚構成の変化>

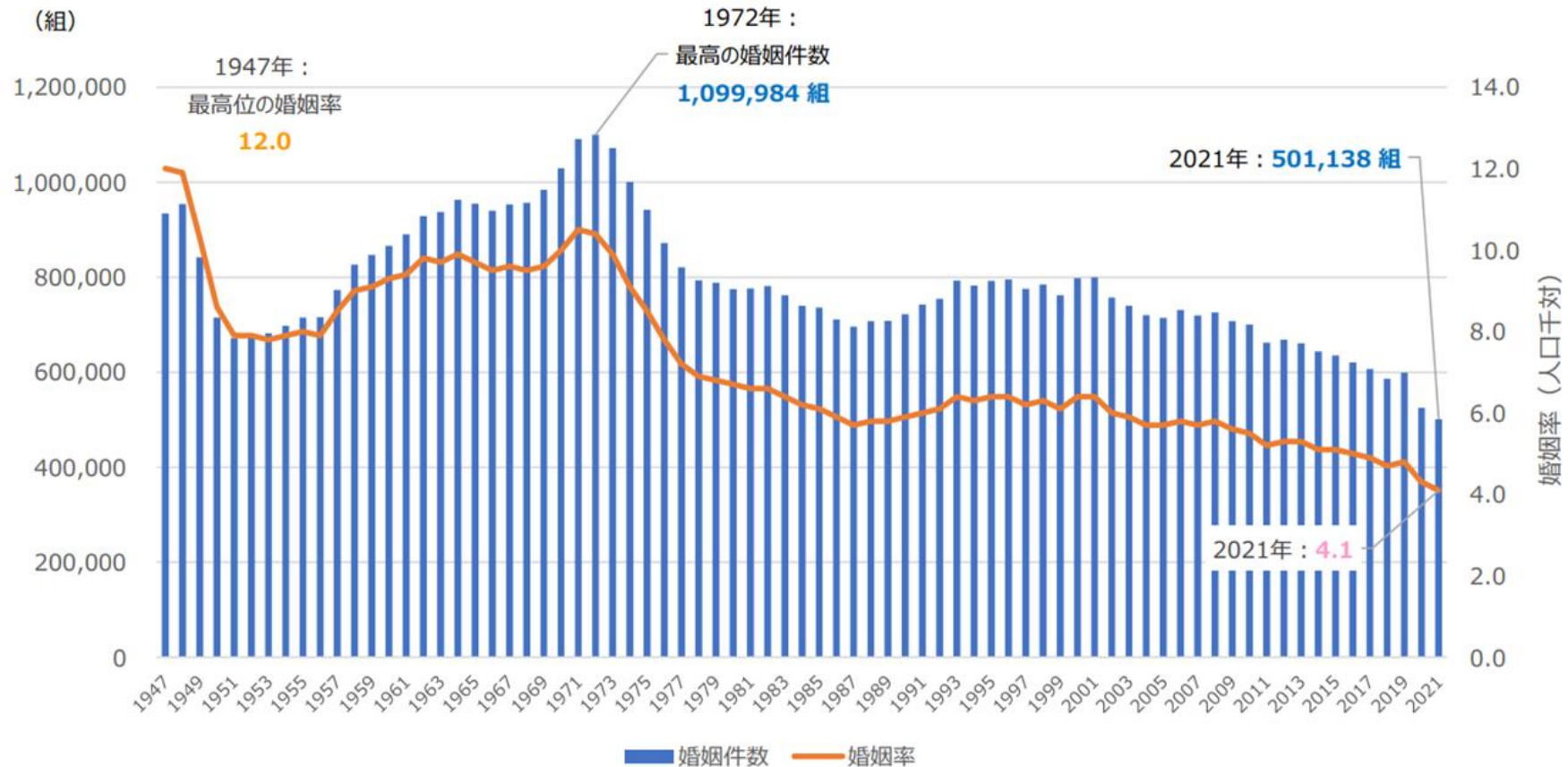
2015年頃から、「職場や学校での出会い」が減少し「マッチングアプリでの出会い」へ、出合いのきっかけが入れ替わりつつある。見合い結婚も増加に転じた。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」

3 <婚姻件数の推移>

マッチングアプリの利用が急激に拡大する中においても、国内全体の婚姻件数は、2020年以降のコロナ禍を経て一段と減少が進みつつある状況。



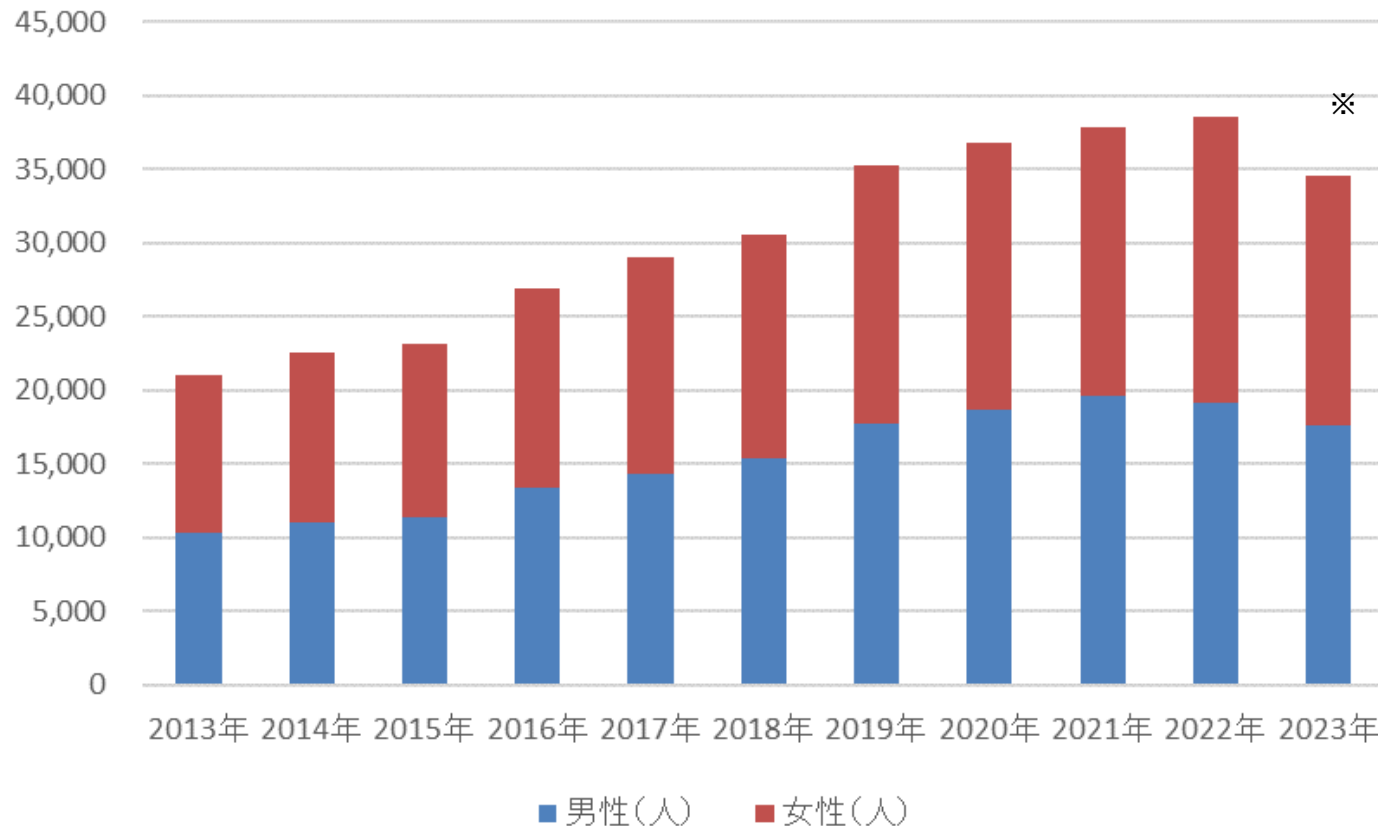
出典：厚生労働省「人口動態統計」

4 <JMIC加盟の結婚相談所会員の年間成婚数の推移>

結婚相談所利用による成婚者数は、JMIC設立時(2013年)以降、毎年増加が続き2022年には年間38,000人が成婚した。

(※2023年は、一部の加盟会社のJMIC脱退により成婚者の集計数が減少した)

結婚相談所 成婚退会者数(人)



出典：2014年から2024年 JMIC加盟会社・年次調査集計

6 <結婚相談所の特徴(信頼性と人的サポート)>

結婚相談所においては、各種証明書により入会者を確認し、婚活の真剣度とプロフィールの信頼性を確保している。また、仲人やアドバイザーなどのスタッフが、各種のアドバイスと成婚に向けたサポートを行い、成婚確率を高めている。

信頼性に関する特徴

結婚相談所では、会員登録に際して以下の証明書類の提出を求めている。

- ・本人確認書類、
- ・独身証明書、
- ・卒業証明書、
- ・職業証明(年収証明)

また、特定商取引法に基づく、契約手続きを対面で行い、契約締結前に、契約内容とサービスの概要・料金についての説明を行っている。

人的サポートに関する特徴

結婚相談所では、仲人やアドバイザーなど、スタッフによる各種の人的なサービスにより、成婚に向けた後押しを行う。

- ・外見、心構え、コミュニケーションスキル等の向上に向けた各種アドバイス
- ・出会いのためのお見合の設定
- ・婚活を続けるためのモチベーションの維持のためのサポート
- ・成婚に向けたお見合い・交際中の活動のサポートアドバイス

公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (通称：B I A)



BRIDAL INSTITUTIONAL
ASSOCIATION

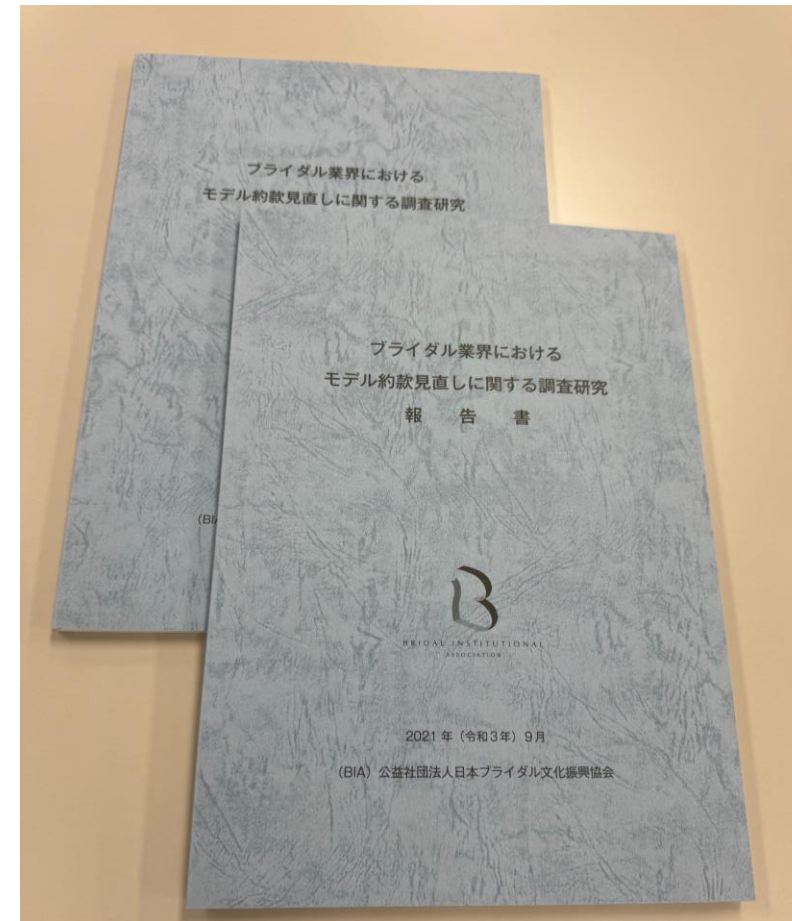
団体概要

名称	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
住所	東京都中央区八重洲2-10-12
設立	1995年 11月 1日（2012年4月より公益社団へ移行）
会員	全国：約330社（ブライダル関連企業：約60%、学校関連：約40%）
目的	ブライダルビジネスに係わる全ての業種が相集って情報の交流を図り、消費者が安心して利用できる環境を整備するために切磋琢磨し、ブライダル産業の健全な発展と振興に資するとともに、生活文化の向上に寄与することを目的とする。 「ブライダル産業振興」「消費者の生活文化向上」
主な事業	<ul style="list-style-type: none">調査研究ならびに情報の収集及び提供人材育成（国家検定「ブライダルコーディネーター技能検定」認定機関）研修会、セミナー及び各種イベント等の開催内外関係機関等との交流及び協力

最近の主な活動



結婚式応援キャンペーン



業界標準
「モデル約款」見直し



ブライダルコーディネーター
技能検定
(厚生労働省指定試験機関)



「婚活ブライダル振興議員連盟」「地域ブライダル協議会」との連携

未来ウェディングJAPANのご紹介

2022年9月設立 入会企業数218社（6月10日時点）

目的

婚姻数、結婚式の数を増やす

取組み

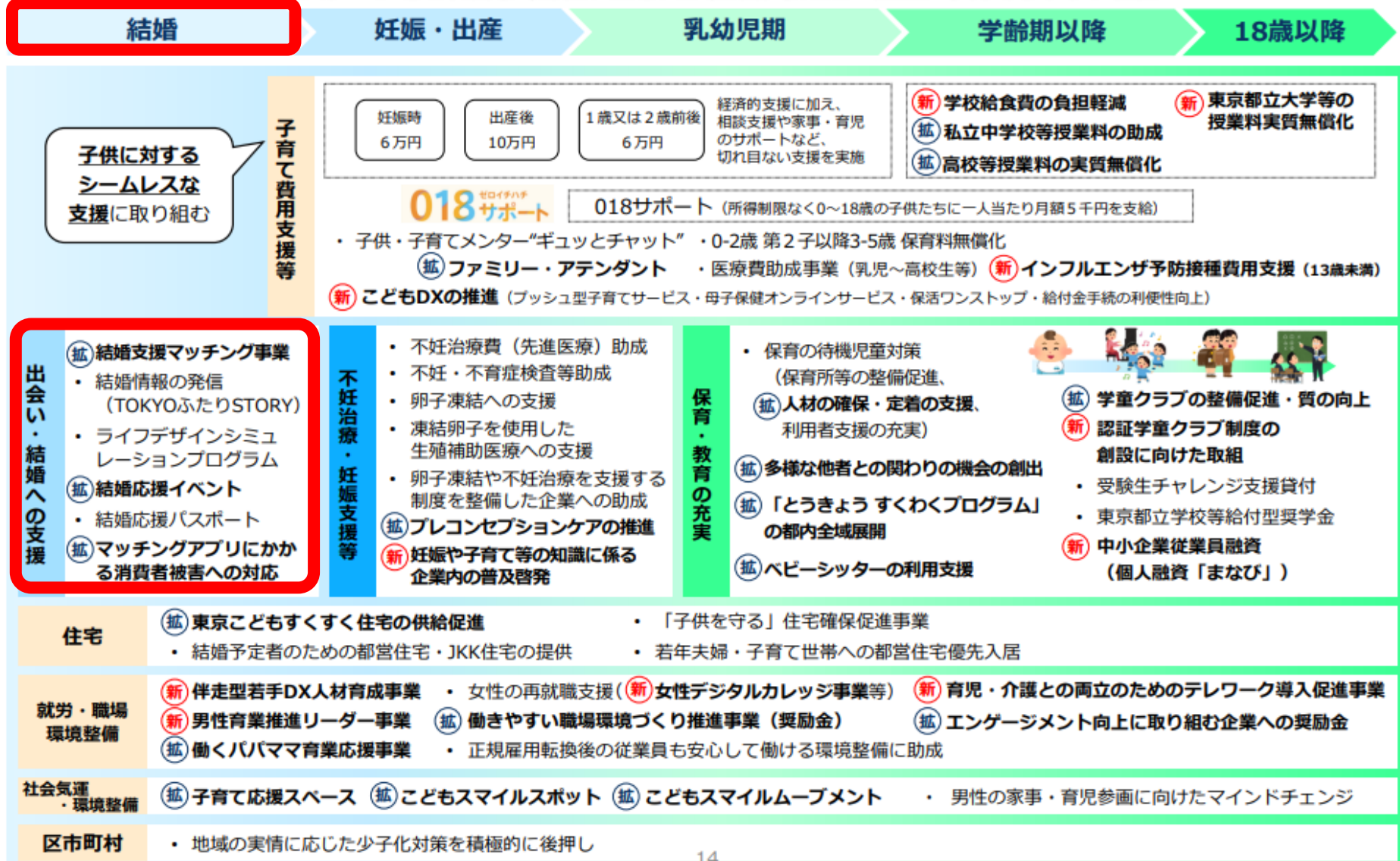
結婚や結婚式への憧れ醸成（啓発活動の実施）

未婚化対策へ向けたエビデンス作成と政策提言

結婚支援事業の位置づけ

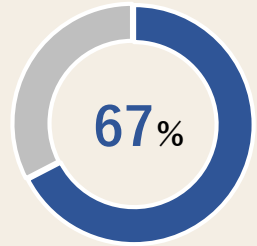
東京都の主な少子化対策（令和6年度予算）

～ライフステージを切れ目なく応援、望む人が結婚から妊娠・出産、子育てしやすい社会へ～

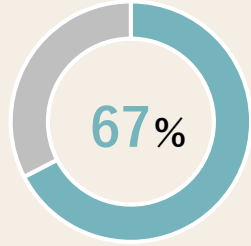


結婚おうえんTOKYOミーティングの方向性

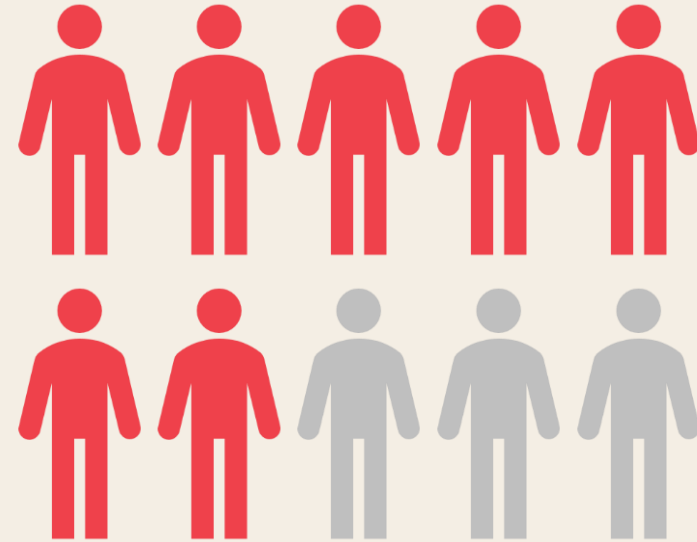
現状



いずれ結婚するつもり



理想的な人がいれば
1年以内に結婚しても良い



69.3%

活動していない人の理由

- ・不安などから婚活・結婚に踏み出せない
- ・出会う機会が無い、どう活動したらいいかわからない



活動に踏み出せない人に、結婚に向けて活動してもらうことが重要

会議の方向性

各団体と都で実施可能な策を打ち出し社会全体の結婚気運を醸成

東京都の取組

マッチング事業

A♥I マッチングシステム

WEB♥相談

交流イベント



結婚おうえんキャンペーン



気運醸成イベント



結婚式・フォトウェディング



結婚にまつわるエピソードのマンガ化 & 結婚思い出ソング

マッチング事業、結婚おうえんキャンペーンを通して結婚に一步踏み出す人を応援

MSPJ：意見

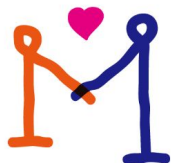
恋愛・結婚の希望が叶う社会の実現に向けて

① マッチングアプリの利用者や家族・友人、都内自治体や報道機関など
に対する「IMS認証」の認知・理解の促進（都・MSPJ）

② MSPJ参画企業における「IMS認証」の取得促進（MSPJ）

③ 結婚支援の一環として「恋愛がしやすい環境」の整備（都・MSPJ）

“フタリになる”を、応援する。



一般社団法人

結婚・婚活応援プロジェクト

MSPJ

MARRIAGE | SUPPORT | PROJECT

7 <結婚相談業における改善すべき課題>

結婚相談所においては、料金が高額であることや、契約・入会手続きにおける非効率、成婚数の増加に向けたスキルアップ、など、今後の利用拡大に向けて改善すべき課題がある。

料金面での課題

結婚相談所においては、顧客獲得・契約手続き・人的サービス・サポートなどのコストにより、マッチングアプリと比較して料金が高額にならざるを得ず、婚活希望者の利用が限定されている。
料金例 入会時前払い:3万~10万円、月会費:1万~2万円、成婚料:5万~20万円)

紙の契約書・証明書に関する課題

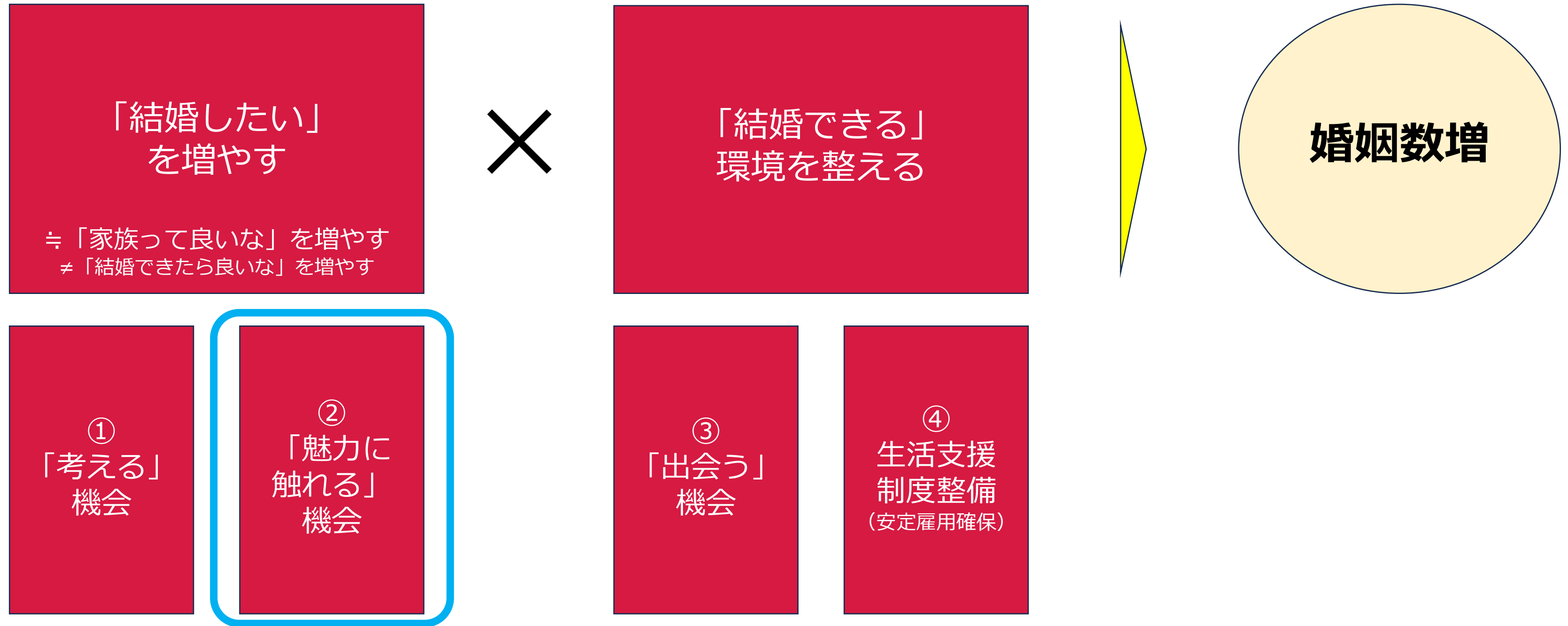
法令および行政手続により、紙の契約書面や紙の証明書を用いた対面契約手続きが原則となり、利用者における利便性が低く、経営面での効率化・コスト削減の妨げとなっている。

成婚数増加に向けたスタッフのスキルアップに関する課題

婚活においては、外見的な魅力を高め、また異性とのコミュニケーションスキルを向上するための、スタッフのコンサルティングスキルの向上が求められる。
また、婚活希望者が婚活をあきらめずに継続することが重要で、モチベーション維持のためのサポートスキルがスタッフに求められるが、スタッフにおけるスキル獲得には多くの余地がある。

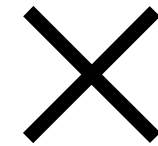
婚姻数増に向けた取り組み検討

(気運醸成・非活動者への働きかけなど)



「結婚したい」を増やす

≡ 「家族って良いな」を増やす
≠ 「結婚できたら良いな」を増やす



「結婚できる」環境を整える



婚姻数増

① 「考える」機会

② 「魅力に触れる」機会

③ 「出会う」機会

④ 生活支援制度整備
(安定雇用確保)

若年層(10代後半～20代前半)からアプローチする機会を増やしていきたい

「ライフプランニング」「キャリアプランニング」に加え「結婚式参列機会創出」「結婚式一般露出強化」等を想定。

合わせて親・親族の「結婚してくれたら良いな」の機運も醸成していく場の創出を実現したい

「婚活」目的者だけを対象とした場作りではなく、民間企業を巻き込んだ若手人材交流の場等を構築し、間接的に「出会い」支援を行うことは出来ないか。

結婚意欲喚起、結婚希望者の行動喚起

- ・ 結婚、結婚式への憧れを喚起する啓発企画の実施
(メディアタイアップを通じた機運醸成など)
- ・ 結婚や結婚式を増やすにあたっての課題整理とエビデンス作成。それを踏まえた政策提言。